



3丁目劇場にぎわいはどこへ

岡山市は2012年度末で3丁目劇場を閉館する方針を明らかにしました。理由は、利用低迷に加え、老朽化が進んでいるためとか。

3丁目劇場は、吉本興業(大阪市)の定期公演受け皿となる劇場として、2000年4月にオープンしました当時の萩原誠司岡山市長が打ち出した『感動産業』の拠点として、民間の店舗(1964年建築)を土地、建物合わせて約4億4千万円で購入。吉本興業の定期公演は、金、土、日曜日。月曜日から木曜日までは、地元商店街や町内会などが組織する3丁目劇場運営協議会が管理しています。

■ 数年で黒字になる

3丁目劇場の開館にあたり、当時の議会では、財政が厳しいなか、予算を使う順番がちがうのではないかなどの指摘もありましたが、萩原市長は、「市民に負担をかけないことが重要。その観点から、既存の施設を所有者が改装した後に、市が買い取るというPFI(社会資本の民間事業化)的な考え方を導入した。長い目で見れば、市民の負担はゼロ以下。数年で単年黒字となり、十年後には累積でも黒字になる」と答えています。

■ 運営収支は開業初年度のみ黒字

初年度は約7万人入場。運営収支は収入14,188,040円、支出13,794,289円で393,751円の黒字でしたが、2001年から2010年までは赤字が続き、その額はトータルで71,669,261円となっています。これを岡山市が穴埋めしています。市民に負担をかけないなんて言うておきながらこのありさまです。

■ 吉本撤退で消えたにぎわい

吉本興業は、オープンから5年目の2005年3月末で、不採算などの理由で撤退しています。入場者は2010年度で約2万7千人にまで減少。撤退したことによる影響は、集客力の低下に表れていますが、運営収支の赤字額は、増えていません。つまり、吉本興業は運営収支には、ほとんど寄与していなかったのです。

感動産業の誘致として、吉本興業を呼び、笑いからまちおこしをしようという発想はとてもよく、地元商店街とともに盛り上げてきたのに、何故閉館することになったのか。吉本興業の撤退が響いたと思われがちですが、前述のように撤退後も収支は変わらないのです。岡山市側からは建物の老朽化が理由に挙げられています。購入時ですでに築36年、今更老朽化はないのでは。民間家具展示場のみ4億強の儲けが残った。

一度始めたことを持続することはとても大変だったこと、岡山市はわかっているのですかね。

岡山市もできるでしょ。

年金申請書類に住民票コードを書こうと、区役所に尋ねたら有料ですと言われた。おかしくないかとの相談です。

調べてみると、住民票コードがわからない場合、岡山市のように1平成14年8月に送付された「住民票コード通知」により確認する。2住民票コード記載の住民票の写しを請求する(有料)自治体と、東京都足立区のように1平成14年8月に送付された「住民票コード通知」により確認する。2住民票コード通知の再発行を窓口で請求する(無料)。3住民票コード記載の住民票の写しを請求する(有料)自治体に分かれています。

足立区に問い合わせたところ、市民サービスとして無料で住民票コード通知の再発行を行っているそうです。岡山市もできるでしょ。

注・住民票コードとは個人の住民票に記載されている無作為に作成された11桁の数字です。
・平成14年8月に「住民票コード通知」を世帯ごとに送付されています。

下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼1月20日(金) 市民ネット『市政報告会』
18:30～ 京山公民館
- ▼1月23日(月) 映画鑑賞会『星守る犬』
9:30～ みんな堂
- ▼1月31日(火) まちづくり～おしゃべりネット♪
10:00～ 下市このみ事務所
- ▼2月12日(日) 市民ネット杯
第3回新春ボウリング大会
13:30集合 14:00スタート
- ▼2月22日(水)～3月21日(水)
2月定例市議会

ご案内

■コミュニティカフェ **高屋みんな堂**
毎週水・木・金 12:00～13:30 (オーダーストップ13:00)
ランチ300円(コーヒー付き)

■野菜市
毎週水曜日 10:30～